

医師紹介

徳島健生病院 門田 美由香

2017年兵庫医科大学卒業  
好きな食べ物：おにぎり



医師8年目、内科専攻医（申請中）です。  
普段は消化器内科を中心に、内科全般の診療をしています。当院は2次救急病院で、救急車の受け入れをしているため、救急では初期対応、原因検索、必要があれば3次への転送を行います。  
最近は優秀な研修医の方たちが登場して焦っています。内科に興味がある方は、いつでも見学や実習に申し込んでいただければと思います。

おすすめBook紹介

「JIN-仁」

西暦2000年の現代から幕末の日本へタイムスリップした脳外科医・南方仁が人々を救うため、現代から持ち込んだ知識と人々の協力により近代医療を実現していく物語。  
技術も知識も現代の医療とは比較にならず、医療機器の未発達、医療に対する価値観の違いなどの要素で救えない生命も多い中、他者と協力しながら今持っている医療知識を駆使して人々を救う感動的な物語で「どんな環境に置かれても、『いま、ここ』を大切に生きていこう」というメッセージ性が表れています。



看護師 豊田香菜子

# すだち通信

2024年秋号



～Contents

- ◇病院見学ツアーお誘い
- ◆手術室紹介
- ～こんな手術をやってます～
- 整形外科、外科、眼科、手術室紹介

- ◆連載記事
- \* 医師紹介
- \* BOOKレビュー
- \* すだちDEクイズ
- \* 奨学金のご案内

すだちDEクイズ(第14回)

秋の食べ物に関する問題です

Q1. 栗には種があります。それはどこでしょう  
A 外のイガイガ B 栗の皮 C 栗の中身

Q2. 秋の旬である「サンマ」の新鮮な状態は、下顎の先端の色で分かります。何色でしょう  
A 黄色 B 赤色 C 紫色

Q3. 松茸にも花言葉があります。それはどれでしょう？  
A 控えめな B 貴重な C 向上心

答えが分かった方は、右のGoogleフォームで回答を送ってください。全問正解者の中から5名の方に図書カードをお送りします。



※回答締め切りは12月10日

第13回の答え：  
①やまもも ②すだちの花 ③藍色でした。  
ご応募ありがとうございました。

徳島健康生活協同組合の  
奨学金制度

徳島県民主医療機関連合会では、医学生のみなさんの学業や学生生活を応援するための奨学金制度を設けています。詳しくはHPをご覧ください⇒

一般奨学金 10万円/月  
特別奨学金 18万円/月



Point!  
年度途中の申請OK  
Point!  
返済免除規定あり



◆各種お問い合わせ・お申込みは

徳島県民医連 学生サポートセンター  
住所：徳島市庄町1丁目パークハイツ101  
電話：088-633-3224 または 090-7628-2820（学生担当）まで

徳島健生病院

## 病院見学ツアー開催



- 病院見学
- 研修医同行
- 診察見学



☞ 見学内容はコチラをご覧ください

- 見たい部門をカスタマイズ  
検査部門・手術室・各科CC・診療所など
- 懇談コーナー

12/11(水)から20(金)  
平日1日1～3名

お気軽にご相談ください

対象：医学科4年生以上

参加費：無料  
申込期間：11/5～11/26

\*申し込みフォームに  
必要項目を入力ください





# 手術室紹介～こんな手術をやっています～

徳島健生病院では様々な科の手術を行っているのを知っていますか？

当院の各科の医師に徳島健生病院の手術の特徴を聞いてみました！

当科の手術件数はここ数年増加傾向であり、2022年度では年間400件、2023年度では417件でした。内訳ではおよそ半数が「骨卒中」の手術です。骨卒中とは、脊椎の圧迫骨折及び大腿骨近位部骨折を指します。

骨卒中は年々患者数が増加しており、高齢化社会においてはもはや日常に遭遇するCommon Diseaseではありますが、対処法を誤ると生命予後をも悪化させる危険な骨折です。

当科では特に骨卒中に対する早期手術治療を心掛けており、骨折による臥床期間をできる限り短くすることで、患者さまの社会復帰あるいは家庭復帰の手助けを行っております。残りの半数は待機手術が行われており、脊椎手術、

人工関節手術、日帰り手術などがよく行われております。抗リウマチ薬の進歩により手術になる方は減少しましたが、古くから関節リウマチの患者さまを見てきたこともあり、現在でもリウマチにより関節変形に対する手術(頸椎、肩、肘、手関節、手指、股関節、膝関節、足関節、足趾)も行なっております。



## 整形外科手術について

整形外科副科長 鎌田光洋



中材・OP室のスタッフは看護師長を含め看護師7名、看護補助者2名で構成されています。業務内容は、手術室や外来・病棟などで使用する器械の洗浄・滅菌・払い出しなど医療器具全般の物品管理や、術中の医師の補助、患者さんのサポートなどです。腰椎麻酔や全身麻酔で手術を受ける患者さんには、術前・術後訪問を行い周術期看護の充実に努めています。

手術室では、外科・整形外科・眼科の診療科の手術を行っており、手術室は3つあります。2023年度は756件(外科236件、整形外科417件眼科103件)の手術を行いました。

手術室看護師は、患者さんが安全かつスムーズに手術を受けられるように、医師と協働しています。手術の進行状況や医師の動きを見て先読みし、迅速かつ正確に器械

を準備するなど、幅広く補助を行います。いかに手術しやすいかを考えてコミュニケーションをとり、医師が手術に集中できるように関わります。スタッフも互いに声を掛け合い助け合うことで、スムーズに手術が進んでいくように取り組んでいます。

ぜひ、見学・実習・研修にお越し下さい。スタッフ一同お待ちしております。



## 中材・手術室の役割

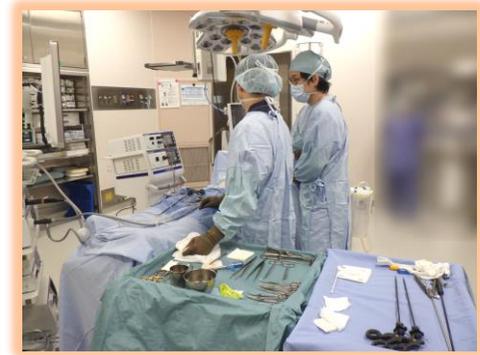
看護師長 本浄直美



当院外科ではいわゆる一般外科領域の範疇で診療にあたっています。良性疾患および救急疾患に対する腹腔鏡手術をはじめ、胃がん・大腸がんに対する腹腔鏡手術、肛門疾患や乳腺疾患の手術、外傷や熱傷および褥瘡の処置、果ては陥入爪や鶏眼、爪白癬など一部の皮膚科領域までを担っています。最近では、傷を小さくまたは少なくする減孔式腹腔鏡手術(Reduced Port Surgery)や、創部の疼痛を緩和する末梢神経ブロックを積極的に取り入れており、より傷が目立たず痛みも少ない手術を提供しています。

さて、僕の座右の銘は「餅は餅屋」です。中小病院の一般外科はよろず外科になりやすいのですが、しかし高度に専門分化が進んだ今の医療業界では、下手に守備範囲外に手出しすることは患者さんの不利益につながります。特に外科領域で医師不足が叫ばれる昨今、専門性の高い疾患は大病院に集約化さ

れた方がサステイナブルです。免疫チェックポイント阻害薬やロボット支援下手術が流行り出し、そのうち中小病院で悪性疾患の治療をするのが現実的ではなくなる日が近づいてきています。そうすると当院の守備範囲はもっぱら良性疾患と二次救急レベルの急性腹症になるでしょう。大病院には大病院の、中小病院には中小病院の使命があるのです。



## 外科手術について

外科副科長 美馬 惇



新病院(2020年12月竣工)では眼科手術室があり、白内障手術、翼状片手術、眼瞼下垂手術、眼瞼部腫瘍切除などの手術をおこなっています。白内障は加齢により、だれにも生じる病気で、高齢化に伴い増加しています。

眼科手術はほとんどが手術顕微鏡下でおこないます。精密な器具の管理と清潔で安心して手術をうけてもらえる環境整備には手術室スタッフのプロ意識も感じます。

眼科手術により、みえるようになったり、瞼がきれいに開くなどで患者さんの笑顔やQOL改善を実感できるところにやりがいがあり、眼科医が増えてほしいところです。手の器用さよりも丁寧に対応できる能力が大切なように思います。



## 眼科「こんな手術

しています

眼科科長 西内貴子

